

独立行政法人理化学研究所  
次世代スーパーコンピュータ開発実施本部御中

平成19年5月3日  
文部科学省研究振興局情報課

次世代スーパーコンピュータ概念設計評価作業部会(第5回)における  
ヒアリングの実施について

次世代スーパーコンピュータ概念設計作業部会(第4回)における委員の意見及び質問、並びにそれ以降委員から寄せられた意見等を踏まえ、今後、同作業部会において評価作業を適切に行っていくためには、以下の事項について理化学研究所から明確な説明を行っていただくことが必要ですので、作業部会(第5回)のヒアリングにおいて適切な対応をお願いいたします。

1. ユニットA及びユニットBをシステムコネクで結合させるシステム構成案(以下「理研案」という)に関する以下の事項。
  - ・ 理研案に至った経緯、及び最適のシステム構成案と判断した理由。
  - ・ 両ユニットのそれぞれの特長(理論性能がそれぞれ10ペタ FLOPS 超、3ペタ FLOPS 超である理由を含む)。
  - ・ 両ユニットを一つのスーパーコンピュータとして利用する用途としてどのようなものを想定しているのか。その場合、両ユニットの有機的な統合を実現するためにどのような機能を予定しており、また、その機能を実現するためにどのような技術を開発するのか。
2. 本プロジェクトの目的・目標や、総合科学技術会議のこれまでの指摘事項(例えば、汎用性の重視、性能目標の達成、大学・研究機関等が必要とする多種多様な計算機としての展開、消費電力や保守費用等の削減の重視、技術の他の製品開発への展開、我が国における技術力の維持・強化)に関して、他のシステム構成案(例:F案のみ、NH案のみなど)と比較して、理研案には具体的にどのような優位性があるのか。
3. HPC Challenge に関する目標の達成見通し。

なお、理研案のシステム構成としての妥当性については、作業部会(第4回)資料3の別紙1「評価項目と評価の視点又は基準」に沿って、説明を行っていただくようお願いいたします。その際には、作業部会の委員の意見や疑問点、関心事項等への回答を中心に、簡潔な説明を行っていただくようお願いいたします。